

焼津市歴史民俗資料館

Yaizu City Museum of History and Folklore

Museum Letter



資料館だより
114号

A



【焼津港】（焼津市中港） 港に係留中の第五福竜丸

内藤忠雄氏撮影

Yaiizu 1954 × 2024

The Photograph



写真Aは建設途中の焼津港です。

空中写真の左上には、かつて焼津港の象徴ともされた「かまぼこ屋根」が見えます。

現在はかまぼこ屋根も撤去され、付近には「焼津 PORTERS」が出来ました。古き良き焼津港の面影を残しつつ、若者が多く集まる場所へと変化を遂げています。

変化したのでしょうか？

焼津市を探索してみました！

今回は、そんな激動の70年前、1954年の焼津市の様子を記録した写真にスポットをあて、令和の焼津市を探索してみました！

また、翌年には周辺町村との大合併が予定されるなど、焼津が「漁業のまち」として大きく飛躍するための大切な年であったといえます。

今後は、そんな激動の70年前、1954年の焼津市の様子を記録した写真にスポットをあて、令和の焼津市を探索してみました！

また、翌年には周辺町村との大合併が予定されるなど、焼津が「漁業のまち」として大きく飛躍するための大切な年であったといえます。

（第五福竜丸がビキニ環礁で核実験に遭遇してから70年）



B【黒石川河口】

(焼津市本町1丁目)

黒石川河口へ移動する第五福竜丸

奥には焼津の象徴である高草山をみることができます。



田中茂氏撮影



D【焼津市役所庁舎】(焼津市本町2丁目)

市役所に設置された第五福竜丸被害対策本部

当時の市役所庁舎は木造2階建てでした。

現在の庁舎は令和3年完成。7階建てで、写真Aの焼津港を望むことができます。



C【焼津神社境内】(焼津市焼津2丁目)

久保山愛吉さんの回復を祈る市民

焼津神社は「漁師の神様」ともいわれ、漁業関係者から厚く信仰されています。

現在では観光客も多く訪れ、8月12日、13日に行われる焼津神社例大祭は東海一の「荒祭り」と称されます。祭りの渡御行列の先頭を歩く「獅子木遣り」は県指定無形民俗文化財です。



会期:2024年2月24日(土)~6月30日(日)

休館日:月曜日(ただし、祝日の場合は翌平日)

入場無料

取材を通し、まちの移り変わりを感じましたが、変わらぬ風景もそこにはありました。また、当時を知る方から「漁業関係者は本当に苦労した」「今は比べられないほど、貧しかった」との話を伺うことができ、まちの人の記憶の中にも1954年は焼きつけられていることを感じました。

現在、焼津市歴史民俗資料館では、特別展「Yaiizu 1954 The Year of Fukuryu Maru」を開催中です。第五福竜丸の被災をめぐり、70年前の焼津に何がおき、人々がどのように立ち向かっていったのか、その目でぜひご覧ください。



学芸員の推♡

Vol.4



今回の学芸員の推しを担当するのは…

休日は2人のお子さんと公園にお出かけするのが楽しみ!!と語るパパさん学芸員! 新村学芸員です。

新村学芸員の推しは?

石脇城いしわきじょうです

ほお〜そこを推してきますか?!

では、思う存分語っちゃってください!

石脇城は焼津の石脇地区にある山城で、小田原北条氏の祖の伊勢新九郎盛時いせしんくろうもりとき（北条早雲ほうちょうさう'un）ゆかりの城ともいわれています。

早雲が今川氏の家督争いを手助けした時に使用したといわれ、北条氏が関東の大大名として出世をしていく礎になった城ともいえることが出来ます。大河ドラマなどで小田原北条氏がとりあげられれば、この石脇城がクローズアップ

プされるかもしれません。

城というと姫路城や名古屋城のような立派な天守閣を持つ城をイメージするかもしれませんが、戦国時代の城のほとんどが山城で、周囲を見張る事が出来る見晴らしの良い山に堀などの防御の機能を持たせたものでした。

以前は竹に覆われ薄暗い場所でしたが、10年ほど前から市役所職員の有志で作る高草山研究会が毎週末竹林整備を行うようになり、その後歴史民俗資料館で整備をすすめ、今では明るく散策しやすい山城になりました。当時私も高草山研究会の一員として毎週末石脇城で竹を切っていました、竹に覆われうっそうとした山から曲輪跡など少しずつ山城の姿が確認できるようになったのが印象的でした。令和4年度から歴史民俗資料館配属になり、この石脇城をより多くの人に知ってもらいたく石脇城を説明するマンガを作成しました。

石脇城は現在の麓からは高さ約30m、登り口からは10分程度で本丸まで登る事が出来る散策しやすい小さな山城ですので是非一度足を運んでみてください。



竹林の伐採作業
(H26年 高草山研究会)



▲ 石脇城 (焼津市石脇上)



▲ 石脇城土塁の様子
(焼津高校書道部)



【発行・問合せ】

焼津市歴史民俗資料館

〒425-0071

静岡県焼津市三ヶ名 1550

☎ 054-629-6847

【表紙写真】

焼津港

▶ 北条早雲と石脇城の漫画